



上最大の降雨量で多くの山腹崩壊が発生したことから、専門家・有識者による災害検証会議を立ち上げ、29日に第1回会議を酒田市八幡地区の観音寺コミュニティセンターで開催した。

現地調査終了後、会場に戻った参加者は本山教授を座長に、地質学の見地で「小屋淵地区は約1500万年前の泥岩の礫(れき)が斜面に溜まり、古い断層で地層種類が急に変わって起

崩れているもので、風化や浸食が進んでいる可能性がある」と報告。また委員からは「降雨規模に比して山腹崩壊の箇所は案外少ないという印象も受ける」と指摘があり「すぐ近くの日向川流域も大量の降水を受けたのに土砂災害は少なかつた。荒瀬川流域の特徴を押し

県は11月上旬にも同河川流域における山腹崩壊の調査分析に係る業務を委託する見通しで、委員はその業務へのアドバイスとして「レーザ測量などで細かい

取れば判明するはずだ。それが今後の砂防施設整備にも一助となるだろう」と述べた。

今後、2月中旬に第2回会議を開催して調査報告書の案に関する協議を行い、3月下旬に取りまとめを行う考え。

鶴岡公園で記念植樹

協会の緑化推進事業

山形県森林土木建設業協会

山形県森林土木建設業協会(永井敏行会長)は29日、鶴岡市の桜植栽行事と併せて鶴岡市内の鶴岡公園にて苗木を記念植樹した。

念植樹を行っている。今回の植栽は鶴岡市の景観と市民交流の場として美しい風景を残す「鶴岡市これからの100年桜植栽行事」として行うもの。

当日は、同協会庄内支部、山形県庄内総合支庁森林整備課、鶴岡市建設部都市計画課などから約20人が参加。冒頭、五十嵐久廣庄内支部長があいさつに立ち、「100年前の1924年に全国100番目の市制施行で鶴岡市が誕生し、中心街の鶴岡公園はさくら名所100選にも選ばれている。節目の年に桜を植栽し、次の100年へ向けて来園者に心の潤いを提供していきたい」と述べた。



植栽する五十嵐支部長(右)ら

その後、植栽作業に移り、五十嵐支部長が荘内神社の石原純一宮司と公園外堀越しに致道博物館が写るスポットでソメイヨシノを植栽。続いて協会や行政の関係者で公園内各所に同じくソメイヨシノ計4本を植えた。

「緑の募金活動」「緑化推進事業」「環境緑化事業」に取り組んでいます

私達は毎年「緑の募金奉仕組織」

山形県森林土木建設業協会

副会長(庄内支部長) 五十嵐 久廣(鶴岡建設㈱)

事務所 山形市あさひ町16-21 TEL(023)632-3893 FAX(023)632-5454

活動に感謝示し訪問 固い握手を交わす



同協会は、f a l c h 社のウォータージェットマシンの製作・販売を行っている独国「f a l c h (ファルヒ)」のクリストフ・ゲックラー氏と川野敬太郎会長(川野敬太郎会長)を訪れ、感謝の意を表した。

なお f a l c h は、昨年より日本法人の設立準備を開始。長年の W J 施工実績におけるノウハウと最新の技術力を提供することで、日本のコンクリート補修や国土強靱化事業などに貢献したいと抱負を述べ、同協会はオールジャパンとしての活動に期待を寄せた。

ウォータージェットマシンの製作・販売を行っている独国「f a l c h (ファルヒ)」のクリストフ・ゲックラー氏と川野敬太郎会長(川野敬太郎会長)を訪れ、感謝の意を表した。

同協会は、f a l c h 社のウォータージェットマシンの製作・販売を行っている独国「f a l c h (ファルヒ)」のクリストフ・ゲックラー氏と川野敬太郎会長(川野敬太郎会長)を訪れ、感謝の意を表した。

同協会は、f a l c h 社のウォータージェットマシンの製作・販売を行っている独国「f a l c h (ファルヒ)」のクリストフ・ゲックラー氏と川野敬太郎会長(川野敬太郎会長)を訪れ、感謝の意を表した。

同協会は、f a l c h 社のウォータージェットマシンの製作・販売を行っている独国「f a l c h (ファルヒ)」のクリストフ・ゲックラー氏と川野敬太郎会長(川野敬太郎会長)を訪れ、感謝の意を表した。

公告

山形市 山形市 山形市

山形市 山形市 山形市